



液状化によって噴き出した砂 橋杭No. 8の周囲には砂が花びらのように広がっていました。

旧相模川橋脚

国指定史跡

解説シート4 地震編

大正12(1923)年9月1日午前11時58分、相模^{さがみ}湾^{わん}を震源とする大地震^{しんげん}が発生、マグニチュード^{だいじしん} 7以上の地震が5分間で4回も起き、関東各地^{はっせい}に甚大な被害^{じんたい}を及ぼしました。^{ひがい} ^{およ}

茅ヶ崎^{ちがさき}でも民家^{みんか}だけではなく、駅^{えき}や学校なども含めた大部分の建物^{ぜんはんかい}が全半壊の被害を受けたと伝えられています。

この地震によって、下町屋^{しもまちや}の水田に太い丸柱^{まるばしら}が何本も突き出てきたのです。



崩壊した馬入川鉄橋

明治20年に完成した東海道線の鉄橋も完全に崩壊しました。

神奈川県茅ヶ崎市